2026 年期　第 6 回課題研究テーマ（東京）

9 班～16 班

テーマ	2025 年以降に公表された会計不正事例に関する第三者委員会調査報告書から、以下の問いに答えなさい。 論述に当たっては、調査報告書の記載内容を単に要約するのではなく、監査基準報告書第 240 号「財務諸表監査における不正」及び不正リスク対応基準を踏まえ、自らの考察を加えて論じなさい。 ①　当該事案において不適切な会計処理等が発生した要因について、企業風土、ガバナンス、内部統制及び経営者の関与の観点から分析しなさい。 ②　あなたが会計監査人であった場合、第三者委員会報告書に記載された事実関係からどのような不正リスクを識別するか。また、その不正リスクに対応するために実施すべき監査手続について具体的に述べなさい。 ③　仮に監査手続の過程で不正による重要な虚偽表示の兆候を識別した場合、当該事案が不正であると判断するまでに、監査チーム内及び被監査会社との間でどのような対応を行うべきか、経営者及び監査役等の反応も想定しながら論じなさい。 ④　本事案から得られる教訓として、会計監査人が職業的懐疑心を発揮する上で重要と考える事項について、あなたの考えを述べなさい。